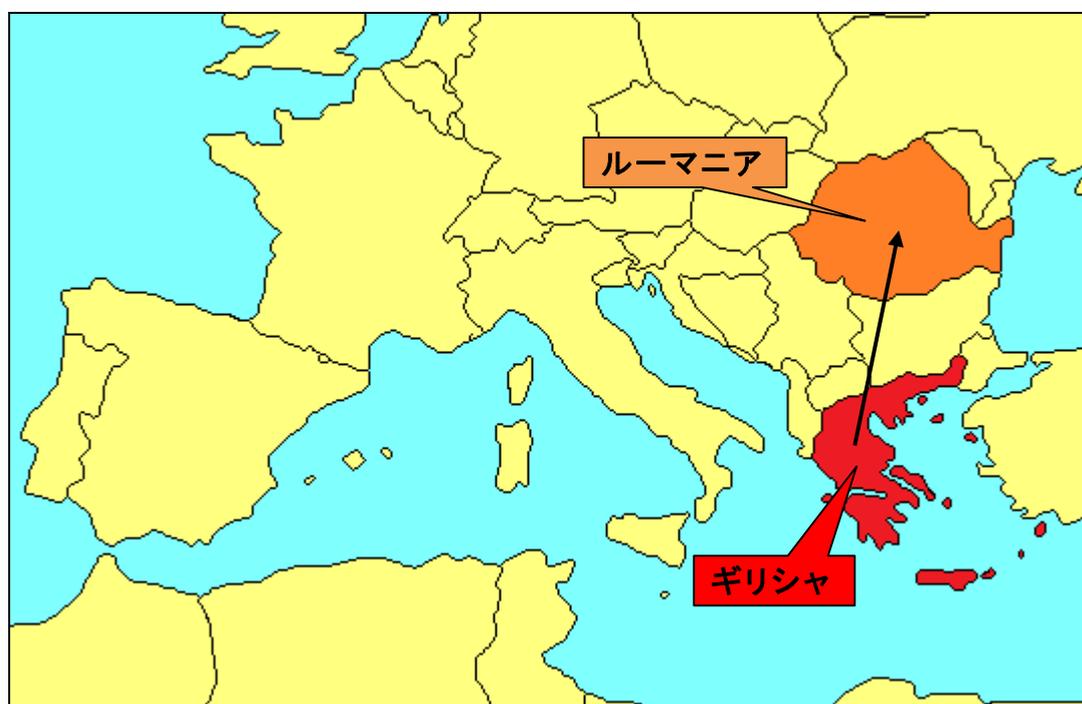


ギリシャからルーマニアへの 三日熱マラリア輸入例

2011年9月3日 ProMED 情報(Eurosurveillance 2011;16(35): 1 Sep 2011)



7月30日、ギリシャから帰国したルーマニア人男性が8月1日悪寒、発熱、筋肉痛で発症しました。その後8月11日三日熱マラリアの診断を受けました。1975年以降、ヨーロッパではマラリアは撲滅したと考えられています。ハマダラカは、南ヨーロッパや中央ヨーロッパで確認されています。過去10年間、ブルガリア、フランス、ドイツ、ギリシャ、イタリア、スペインで、感染した蚊がエアポート(空港)から逃げ出す空港マラリアを含む土着のマラリア患者が数例報告されています。

ギリシャでは、2009年8～10月、南部のラコニア Lakonia 県で8名の入院患者(パキスタンとアフガニスタンの移住者2名を含む)が土着のマラリアとして報告されています。2011年6月～8月18日、ラコニア県で4名、東部のエボイア Evoia 県で2名の三日熱マラリア患者が報告されています。全員がマラリア流行地域への渡航歴がない地元住民でした。

ルーマニアでは、1948年に333,198名のマラリア患者が報告されましたが、1968年にマラリア清浄国と宣言されました。過去10年間で、107名のマラリア患者が診断されましたが、すべてアフリカからの輸入例です。

今回の欧州内での輸入例は、2000年、ギリシャから帰国したドイツ人2名について2件目になります。